

## 令和6年度 事業報告

公益財団法人がん研究振興財団

## 令和6年度 事業報告

### 1. 研究助成事業

#### (1) がん研究助成 23,862千円

がんに関する基礎研究から臨床研究まで幅広い研究(A)、日常の診療や療養上の問題解決を目的とした研究(B)、がんサバイバーの支援を目的とした研究(C)について、それぞれ助成を行った。

一般課題	A	19名	(18,980千円)
一般課題	B	5名	(2,496千円)
一般課題	C	5名	(2,386千円)

#### (2) 海外派遣研究助成 1,710千円

がんに関する国際会議、国際学会への出席者10名に対し、海外旅費等の助成を行った。

### 2. 関係団体助成事業 1,000千円

UICC国内委員会の事業に対し、助成を行った。

### 3. 技術者研修助成事業 600千円

がん看護等の知識・技術の向上を図るため、コメディカルスタッフの海外研修留学等3名に対し、海外旅費等の助成を行った。

### 4. がんになっても生きる希望を持てる事業 (HOPE 事業) 6,000千円

幅広い研究分野における柔軟な発想を持った人材を研究領域に取込むための研究を支援するため4名に助成を行った。

トランスレーショナル・リサーチ若手研究者育成事業 (TR 事業)

### 5. がん情報提供支援事業 12,423千円

がん患者や家族にとって利用し易く信頼性の高い最新の企業治験情報等を提供するため、「患者本位のがん治験情報サイト」を令和3年10月に開設。

同サイトは、全がん領域の治験情報を検索できる「基本情報システム」と患

者等の利便性を考慮した「総合検索情報システム」で構成され、サイト機能の充実を図った結果、累積総アクセス件数が87万件を超えている。

(1) 患者本位の「がん治験情報サイト」の全面リニューアル

- ・全12領域の企業治験情報の追加・変更情報を登録
- ・情報サイトトップページの全面改編
- ・小児AYAの医師主導治験・特定臨床研究情報の公表
- ・用語集の掲載（拡大治験等）

(2) 「総合検索情報システム」の機能充実

- ・サイト名称変更、協力企業一覧の掲載
- ・フリーワード検索機能の搭載
- ・リンク集ページの追加

(3) 患者本位の「がん治験情報サイト」の広報活動を実施

- ・患者会への広報活動
- ・がん診療連携拠点病院、都道府県への広報活動

6. 研究成果等普及啓発事業 5,497千円

最先端のがん研究動向の講演や研究助成の成果発表会等を公開することにより成果等の普及啓発に努めた。

(1) がんサバイバーシップ研究成果発表会・セミナー (2,857千円)

テーマ 「がんサバイバーが病い体験を社会に活かすとき」

開催日 令和7年2月7日（金）

方法 国立がん研究センターセミナールームとオンラインによる  
ハイブリッド開催

(2) がん研究シンポジウム開催 (2,640千円)

テーマ 「がんRNA標的創薬の展望」

開催日 令和7年3月15日（土）

方法 国立がん研究センター研究棟1階大会議室とオンラインによる  
ハイブリッド開催

7. 出版・広報活動事業 39,636千円

がん研究の成果を国民にフィードバックするため、パンフレット等を作成し自治体、学校、保健所及びがん診療連携拠点病院等に配布した。

(1) がん関連パンフレットの作成配布 (6,746千円)

- がんの統計 2025 2千部
- がん治療前の食事のヒント 10千部
- がんを防ぐための新12か条ハンドブック 5千部
- がんターミナル期をご自宅で過ごす方の生活と食事 10千部
- 知っておきたい放射線治療 10千部
- がん治療中の食事サポートブック 10千部
- がん治療と食生活 10千部
- 加仁 52号 1.5千部

(2) 一般財団法人日本宝くじ協会助成事業 (32,890千円)

- やさしいがんの知識
  - 肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん 1,385千部
- がん検診 1,597千部
- 妊孕性温存療法 296千部